

# 中央霊園に「合祀墓」

## 三笠 「管理難しい」悩みに対応

【三笠】公益財団法人北海道中央霊園（岩見沢）は20日、複数の人を一緒に納骨する「合祀墓」を、三笠市大里の同霊園に設置する。少子高齢化の影響で「墓を管理する家族がない」といった悩みに応えた。

合祀墓「結の苑」<sup>その</sup>は、霊園内の100平方メートルの敷地に設置。北海道をイメージした御影石のモニュメント（高さ約3メートル）の地下に約2千体の遺骨を収納できる。除草などの墓の管理は同法人が行う。遠隔地に住み、三笠での納骨を希望する場合、骨つぼを郵送すれば同法人が納骨を代行するサービスもある。永代管理・供養料など

は計3万9千円で「その他の料金は不要」（同法人）としており、墓石を構えた通常の墓を設置するより安価な点もPRしている。

同法人には約10年前から「子どもが道外で働いていて墓の管理が難しい」「子どもはいないが墓は欲しい」「年金生活で墓に金をかけられない」などの相談が寄せられていた。武田寛理事長は「時代に合わせたサービスを提供したい」と話している。問い合わせは同法人 ☎01267・3・1511。

岩見沢市も市民からの同様の要望を受け、「合葬墓（合同墓地）」の緑が丘霊園への整備を計画している。

（堀田昭一）